

科 目 名	教育課程論				
配 当 学 年	2 年	必修・選択	必修	CAP制	対象外
授 業 の 種 類	講義	単 位 数	2 単 位	授業回数	15
授 業 担 当 者	青塚 健一（非常勤講師）		単位認定責任者	青塚 健一	
実務経験の有無	無				
実務経験のある教員名および授業の関連内容	-				
授業科目の概要	学校教育の体系としてのカリキュラムと教育の目的・目標との関連、学習指導要領の意義や歴史的変遷とその法制、教育課程の編成・実施、教育内容と学力、学習指導要領の総則の内容、新学習指導要領の特色と取扱い、学校の特色づくりと教育課程、カリキュラム・マネジメントの意義・重要性と学校評価などの取組から創る講義である。				
授業科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育の目的・目標の具現化と教育課程の関連を説明できる。</li> <li>2. 学習指導要領の意義や内容、その法制について説明できる。</li> <li>3. 教育課程表からその編成・実施のねらいを理解し、その内容などを例示できる。</li> <li>4. カリキュラム・マネジメントの意義や重要性を理解し、説明できる。</li> <li>5. 学校の特色づくりとカリキュラム評価・学校評価の関連について説明できる。</li> </ol>				
学修成果評価項目（%）および評価方法	項目	割合	評価方法		
	基礎学力	5 %	毎回のコミュニケーションシート		
	専門知識	80 %	毎回のWORK、試験、レポート		
	倫理観	%			
	主体性	5 %	毎回のWORK		
	論理性	%			
	国際感覚	%			
	協調性	5 %	毎回のWORK		
	創造力	%			
責任感	5 %	毎回のWORK			
授業の展開					
1.	教育の目的・目標				
2.	教育行政の制度				
3.	「経験主義」と「系統主義」				
4.	カリキュラムの概念と教育課程編成				
5.	学習指導要領と学習指導要領 「総則編」				
6.	学習指導要領とその変遷（1）				
7.	学習指導要領とその変遷（2）				
8.	初等教育・中等教育の教育課程				
9.	教育課程改革（PISAの21世紀型能力）				
10.	新学習指導要領（第8次改訂）の特色				
11.	カリキュラム・マネジメント				
12.	カリキュラムを支える教育環境				
13.	教育課程と評価				
14.	諸外国の教育課程				
15.	学校の特色づくりと教育課程				
授業外学修について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各回の授業後に学習事項を整理し復習を行う（コミュニケーションシート）</li> <li>・レポート課題（学校研究）のための調査研究を行う</li> </ul>				

教科書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 「総則編」</li> <li>・講義のレジュメ、関連資料を配布する</li> </ul>				
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自出身高等学校の「学校要覧」</li> <li>・中学校学習指導要領解説 「総則編」</li> </ul>				
試験等の実施	定期試験	その他のテスト	課題・レポート	発表・プレゼンテーション	取組状況等
	○	×	○	○	○
成績評価の割合	60 %	0 %	20 %	10 %	10 %
成績評価の基準	<p>本学の評価基準に基づき、成績評価を行う。</p> <p>秀（100～90点）、優（89～80点）、良（79～70点）、可（69点～60点）、不可（59点～0点）</p>				
試験等の実施、成績評価の基準に関する補足事項	<p>「取組み状況等」・・・毎回の授業時における課題解決学習の取組み状況</p>				

（教育課程論）